

令和2年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 4-33 観光・イベント事業【地方創生推進交付金】

【予算反映等改善事項】

本年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、殆どのイベントに関して所期の計画に沿った実施が困難となってしまったが、港まつりについては時期や場所を変更し、無観客による花火大会を開催するなど、可能な限り実施手法に工夫を凝らしながら、より効果的な事業実施に努めたところである。

また、アフターコロナを見据えつつ、徳島県の魅力体験型アンテナショップ「ターンテーブル」や都内の店舗等において「小松島フェア」を開催し、本市の農産物・海産物などについて、オンラインによる商談会を実施したり、また、市内外の飲食店等において「ハモキャンペーン」を実施するなど、新たな取り組みによる地元製品の販路拡大に努めたところである。

次年度に向けては、新型コロナウイルス感染症の影響を見定めながら、議会評価意見書による評価も踏まえ、徳島県をはじめ、イーストとくしま観光推進機構や小松島観光物産協議会などの関係機関・団体等と緊密に連携を図りながら、観光情報の効果的な発信やクルーズ客船の誘致促進など、観光諸施策の更なる充実に向けていきたいと考えている。

なお、次年度においては、本市の観光拠点の整備に関し、「観光・イベント振興事業」の中で「弁天山機能回復業務委託料」を計上し、予算反映に努めたところである。